

製品名: SNAPC 19 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18049**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | SNAPC5 |
| 別名 | SNAPC5; SNAP19; snRNA-activating protein complex subunit 5; SNAPc subunit 5; Small nuclear RNA-activating complex polypeptide 5; snRNA-activating protein complex 19 kDa subunit; SNAPc 19 kDa subunit |
| 遺伝子 ID | 10302.0 |
| SwissProt ID | O75971 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト SNAPC5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59 |

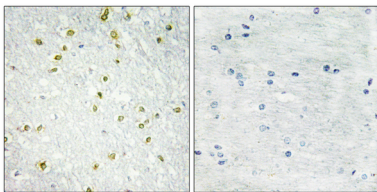
背景

この遺伝子は、核内小 RNA (snRNA) 遺伝子の転写に関与する活性化タンパク質複合体のサブユニットをコードしています。この複合体は、RNA ポリメラーゼ II または III によって転写される snRNA 遺伝子のプロモーターに結合し、他の調節因子をリクルートして snRNA 遺伝子の転写を活性化します。コードされているタンパク質は、この複合体の安定化に関与している可能性があります。この遺伝子の擬似遺伝子が 6 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2016 年 7 月]、機能: RNA ポリメラーゼ II および III の核内小 RNA 遺伝子の転写に必要な SNAPc 複合体の一部。これら 2 種類の遺伝子に共通する、TATA ボックス以外の基底プロモーターエレメントである近位配列エレメント (PSE) に結合します。U6 snRNA TATA ボックスに TBP と BRF2 をリクルートする。サブユニット: 5 つのサブユニット (SNAPC1、SNAPC2、SNAPC3、SNAPC4、SNAPC5) からなる SNAPc 複合体の一部。SNAPC5 は SNAPC4 と相互作用する。、

研究分野

-

画像データ



SNAPC5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。